

連載 千座の置き戸（ちくらのおきど）

第二百八十二回 貨幣制度の話 その三

南出喜久治（令和7年12月15日記す）

かてともの たみがすべてを つくりだす かねはこれらの あはせかがみよ
（食料と商品、民が全てを作り出す、通貨はこれらの合はせ鏡よ）

政府貨幣（公共貨幣）と債務貨幣（民間貨幣）の違いは、端的に言ふと、貨幣発行権がどこに帰属するのかの違いである。

国家の貨幣であれば、政府に帰属するのが当たり前であるが、これがさうではなかったのである。

貨幣発行権が民間によつて奪はれてきた歴史がある。このことを國體護持総論の第六章で次のやうに述べてゐる。

貨幣經濟が発達してゐなかつたイギリスでは、ロンドンで兩替商などを営む金細工師（金匠、ゴールド・スミス、goldsmith）の銀行家たちが事實上の通貨発行権を持つてゐた。それを、十二世紀の初めにヘンリー一世（Henry I）が取り上げて、初めての英國通貨を発行した。ところが、ゴールド・スミス（銀行家連合）は、再び通貨発行権の奪還に成功する。その事件が、クロムウェルによるイギリスの清教徒革命（Puritan Revolution）であり、その結果、イギリスの中央銀行となるイングランド銀行（The Bank of England）が設立され、以後、イギリスの通貨発行権は奪はれたままになつてゐる。中央銀行といふのは、國家から通貨発行権を付與された民間銀行複合體で、他の私的銀行を統括して金融政策を行ふものであり、政府とは別の組織である。

そして、これと同じやうな攻防がアメリカ合衆國でも起こつた。一九一〇年、J・P・モルガン、ジョン・ロックフェラー、ポール・ウォーバーグなど十一人により、合衆國から通貨発行権を奪ひ取つて中央銀行を設立するための秘密會議がなされ、それをウィルソン大統領（Woodrow Wilson）が、一九一三年に、クリスマス休暇で議員が居ないのに議會を開いて、電撃的に秘密會議の決定に基づく法案を成立させ、中央銀行への返済財源に充てるための所得税徴収法まで成立させたのである。そして、翌一九一四年にF R Bが設立され、合衆國の通貨発行権は奪はれた。これは、「合衆國議會は貨幣発行権、貨幣價值決定權ならびに外國貨幣の價值決定權を有する。」とするアメリカ合衆國連邦憲法第一章第八條第五項に明らかに違反してゐた。

なぜこのやうになつたかについては、獨立戦争以來の伏線があつた。合衆國は、十八世紀に、財政が脆弱なまま長期に亘る獨立戦争を行ひ、その戦費などを歐州の民間銀行から調達し、實質的には通貨發行權を奪はれてゐた。獨立戦争終結後の一七八二年には、最初の中央銀行であるバンク・オブ・ノースアメリカ (The Bank of North America) が設立されるが、恒久法にすると憲法違反となるので、その後も、時限立法による中央銀行として、一七九一年にファーストバンク・オブ・ユナイテッドステイツ (The First Bank of United States)、一八一七年にセカンドバンク・オブ・ユナイテッドステイツ (The Second Bank of United States) が設立された。

ところが、ジャクソン大統領 (Andrew Jackson) は、一八三一年、歐州の銀行による支配に異議を唱へた。すると、暗殺未遂の災難に遭つた。その難から辛うじて逃れたジャクソン大統領は、暫定的に中央銀行として認める時限法を更新する改正をしなかつたため、セカンドバンクは一八三六年に消滅した。

そして、そのことが引き金となつて起こつたのが南北戦争である。南軍も北軍もイギリスの銀行から戦費の調達を行つた。イギリスの銀行は究極のリスクヘッジ (risk hedge) を行つて、南北戦争終了後における恒久的な中央銀行の地位を狙つたのである。ところが、南北戦争後の一八六二年に、リンカーン (Abraham Lincoln) は、アメリカ政府 (財務省) の政府紙幣であるグリーンバックドル (Greenbacks dollar) を發行し、歐州銀行複合體の支配からの脱却を図らうとした。これは、中央銀行が發行するドルではなく、アメリカにおける初めての憲法通貨 (法貨、Constitutional Money) である。そして、これにより一八六五年にリンカーンは暗殺されるのである。

暗殺と言へば、ケネディ大統領 (John Fitzgerald Kennedy) の暗殺も同じである。ケネディは、アメリカに大量に眠る銀の埋蔵量に着目し、F R B の金本位制から合衆國独自の銀本位制へと移行することが可能であるとして、一九六三年に、銀本位制により合衆國發行の法貨を發行する大統領行政命令 (executive order 11110) を發令した。ケネディこそ、F R B に奪はれた合衆國の通貨發行權を取り戻すことに最も熱心で勇氣のある大統領であつた。そして、ケネディもまた、大統領行政命令を發令した同じ年の十一月二十二日にダラスで暗殺されるのである。